

スオード錠 100

【この薬は？】

販売名	スオード錠 100 SWORD TABLETS100
一般名	プルリフロキサシン Prulifloxacin
含有量 (1錠中)	132.1mg (活性本体として100mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系抗菌製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌のDNA（デオキシリボ核酸）の複製にかかわる酵素を阻害することで、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

＜適応症＞

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、コレラ、子宮内感染、子宮付属器炎、麦粒腫、中耳炎、副鼻腔炎

<適応菌種>

本剤の活性本体 (ulifloxacin) に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ (ブランハメラ)・カタラーリス、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属 (チフス菌、パラチフス菌を除く)、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、コレラ菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、ペプトストレプトコッカス属

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まないと、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示どおりに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にスオード錠 100 に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・小児
 - ・フェンブフェン、フルルビプロフェン アキセチル (ロピオン)、フルルビプロフェン (フロベンなど) を使用している人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓に高度の障害のある人
 - ・てんかんなどのけいれんをおこす病気のある人、または過去にてんかんなどのけいれんがあった人
 - ・重症筋無力症の人
 - ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子 (マルファン症候群など) のある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用してはいけない薬 [フェンブフェン、フルルビプロフェン アキセチル (ロピオン)、フルルビプロフェン (フロベンなど)] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子 (マルファン症候群など) のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

「肺炎」「慢性呼吸器病変の二次感染」以外の感染症の場合

1 回量	2 錠 必要に応じて、3 錠をこえない範囲で増減されます。
飲む回数	1 日 2 回

「肺炎」「慢性呼吸器病変の二次感染」の場合

1 回量	3 錠
飲む回数	1 日 2 回

●**どのように飲むか？**

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛みなどの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより画像検査が行われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用することはできません。妊娠の可能性があるときは、すぐに医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえし ゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこう ぐん (スティーブンス-ジョン ソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑 の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発 する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったも のが多発する、発熱、関節や喉の痛み
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、 尿が赤褐色になる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、 手足のふるえ、けいれん、意識の低下
大動脈瘤 だいどうみやくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦し い、食べ物が飲み込みにくい、胸の痛み、背中の痛み、 腹痛
大動脈解離 だいどうみやくかいり	激しい胸の痛み、激しい背中の痛み、激しい腹痛
アキレス腱炎、腱断 裂等の腱障害 アキレスけんえん、けんだん れつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節 を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射 した指の関節が曲がらない
せん妄、記憶障害等 の精神症状 せんもう、きおくしょうがい などのせいしんしょうじょう	軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想、新たなことを 覚えられない、物忘れをする

同類薬（他のニューキノロン系抗菌剤）であらわれる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、 あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛 み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚 が黄色くなる、尿の色が濃くなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まり にくい






重大な副作用	主な自覚症状
急性腎障害等の重篤な腎障害 きゅうせいじんしょうがいなどのじゅうとくなじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
心室頻拍 (Torsades de pointesを含む) しんしつひんぱく (トルサード ド ポアントを含む)	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
QT延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、激しい腹痛、下痢、嘔吐(おうと)、便に血が混じる(鮮紅色～暗赤色)
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
血管炎 けっかんえん	発熱、手足のしびれ、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりよくしょうのあつか	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、脱力感、疲れやすい、けいれん、出血しやすい、寒気、突然の高熱、体がだるい、出血が止まりにくい、むくみ、力が入らない、体がかゆくなる、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、気を失う、頭痛、一時的にボーっとする、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想、新たなことを覚えられない、物忘れをする
顔面	顔面蒼白、血の気が引く、鼻血
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える
耳	耳鳴り
口や喉	喉のかゆみ、唇や口内のただれ、咳、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、食べ物が飲み込みにくい、歯ぐきの出血、喉の痛み、吐き気、嘔吐
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、胸の痛み、激しい胸の痛み、胸の不快感

部位	自覚症状
腹部	お腹がすく、腹痛、食欲不振、お腹が張る、激しい腹痛
背中	背中の痛み、激しい背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、関節や喉の痛み、手足のこわばり、手足のしびれ、手足のふるえ、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）
尿	尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる、尿量が減る
その他	高血圧

【この薬の形は？】

	表面	裏面	
PTP シート			
形状			
直径	8.1mm		
厚さ	4.1mm		
重さ	197.1mg		
色	淡黄色		
識別コード	MSS07		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	プルリフロキサシン
添加物	乳糖水和物、メチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、炭酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、プロピレングリコール、酸化チタン、タルク、カルナウバロウ、黄色三二酸化鉄 香料、バニリン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：Meiji Seika ファルマ株式会社

(<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：(0120)093-396、(03)3273-3539

受付時間：9時～17時(土、日、祝日および当社休業日を除く)